

利用してみよう！

# 定期巡回・ 随時対応型 訪問介護看護



横浜市



一般社団法人 全国定期巡回・随時対応型訪問介護看護協議会

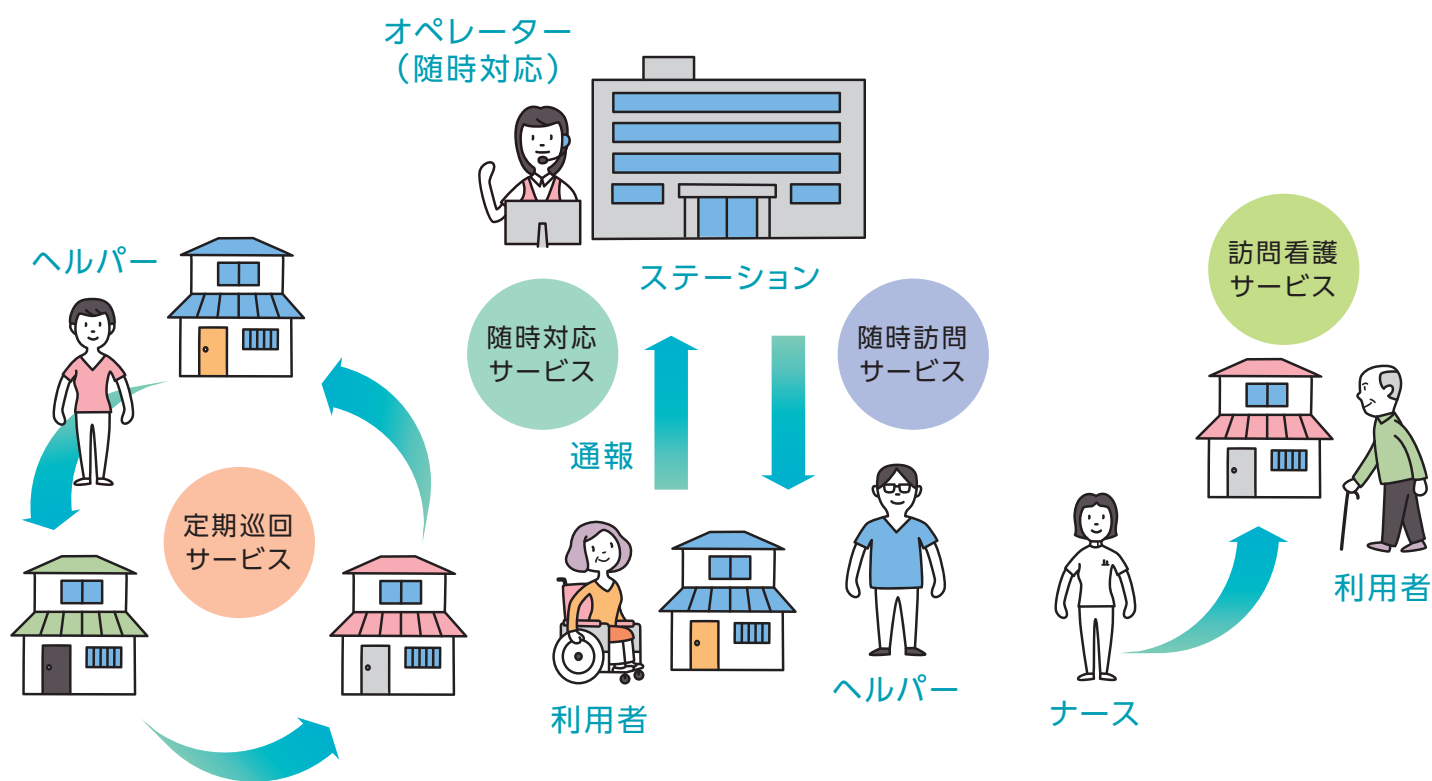
# 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の概要

ヘルパーまたは訪問看護師が要介護者の自宅を定期的に訪問し、何かあれば夜間でも随時対応する体制を24時間整えているサービスです。詳しくは、以下の特長があります。

- 1日に複数回訪問できる
- 利用者の状態にあわせて、サービス提供時間を柔軟に変更できる
- 利用者宅に通信機器を設置し、いつでも介護事業所にコールできる
- コール内容に応じて、ヘルパーが随時訪問する
- 月1回、看護師が医師との連携や療養上のお世話等を目的に、アセスメントを行う
- 包括報酬で要介護度毎の1月当たりの利用料は定額

## 対象者

- 要介護度1～5の方
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所と同じ市区町村に住み票がある方



## 定期巡回サービス



利用者宅にヘルパーが1日複数回訪問します。短時間でも訪問できます。利用者の生活リズムに合わせてサービスを提供します。

## 随時対応サービス



利用者宅に通信機器を用意し、オペレーターが、24時間365日いつでも利用者からの通報を受付けます。

## 随時訪問サービス



随時対応の結果、オペレーターが必要と判断したときには、利用者宅にヘルパーが訪問します。

## 訪問看護サービス



看護師が介護スタッフと連携し、契約内容に応じて訪問やアセスメントを行います。

# サービス開始までの流れ

定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用するまでの流れについてご案内します。



## ケア内容・タイムスケジュール(例)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用する利用者の1日のケア内容、スケジュールの例です。

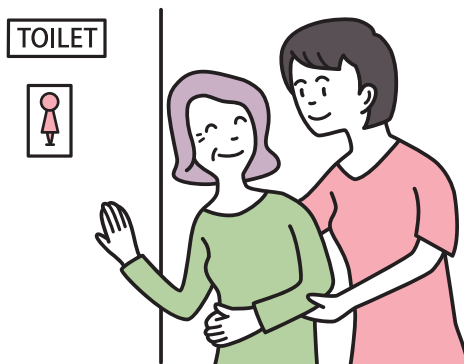
### モーニングケア

朝起床時に行う一連のケアです。洗顔、髭剃り、着替え、おむつ交換、バイタルサインチェックなど



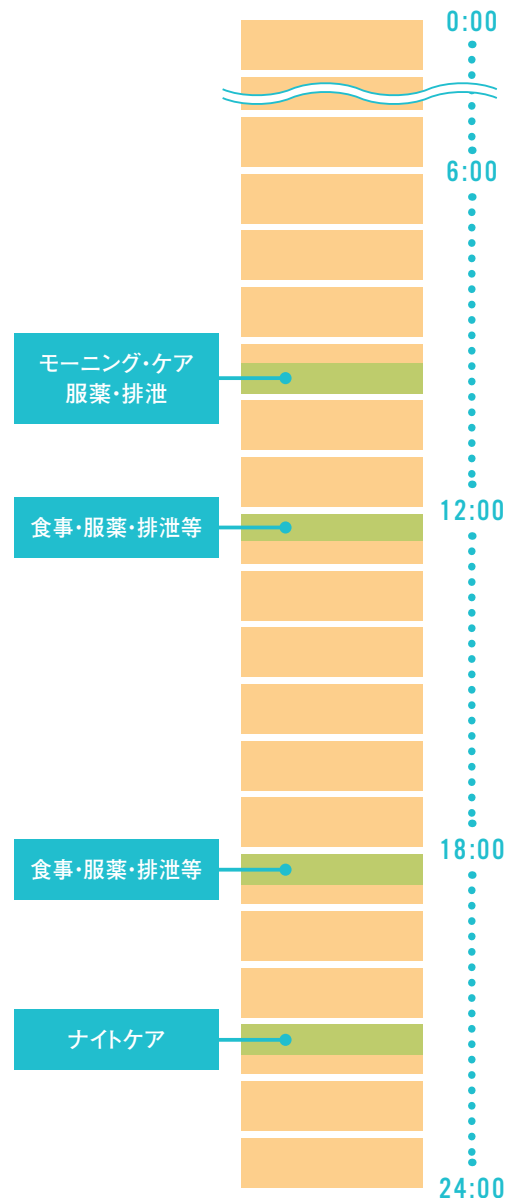
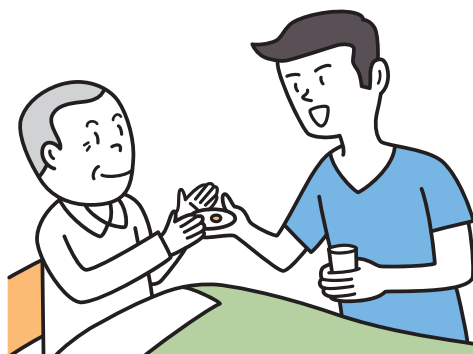
### 食事・服薬・排泄

食事の介助、食後の服薬の促しや、トイレへの誘導を行います。本人ができることを残しつつ、必要な支援を行うことで、在宅生活が継続できます。



### ナイトケア

就寝時の介助を行います。眠前薬の服薬、口腔ケアなど



# サービスの利用例

どのような方が定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用するのでしょうか。

Case  
1

## 退院直後の方

「退院したけど体調がなかなか安定しない」、「不安がいっぱいで自信がない」という方は、ヘルパーの訪問や看護師へ相談することができ、安心して生活ができます。緊急時にはヘルパーが随時訪問します。



Case  
2

## 自分のことはなるべく自分でやりたい方

家の中で動くことが少ない方も、一緒にトイレまで歩いたり、お掃除したり、必要なところだけをサポートし、今持っている力を出来るだけ保ちつつ、ニーズに応じたケアを行います。



Case  
3

## 水分補給や室温調整が必要な方

1回の飲水が少なく、脱水症になりやすい方も、こまめな水分促しと室温調整で、在宅生活を続けられます。



Case  
4

## 生活のサポートが必要な方

「内服を忘れてしまう」、「1人ではできない」など、服薬ができない方も、ヘルパーの声掛けなどで薬も飲めるようになり、生活リズムが整って、体調が安定します。



# 事例紹介

## 事例 1

### サービスを利用することで生活が安定し、 施設系サービスへの転居が不要となった事例

| 女性 | 77歳 | 要介護 1 | 世帯:独居 | 既往歴:胃がん | 認知症自立度:II b |

#### サービス開始前

- 認知症が進み、地域から孤立して暮らしていました。
- 民生委員からの依頼によりサービスを開始しました。



#### サービス開始後

- 当初は複数回の長時間の訪問(食事づくり、家事援助、傾聴など、状況によっては1時間以上)が必要でしたが、徐々に、受診・服薬が確実になされることで、食事がきちんととれるなど、生活が落ち着きました。また、規則正しい生活となり、病気の進行も予測できるようになりました。
- 人との関わりに自信を取り戻したことで、デイサービスの利用が始まり、入浴はデイサービスで済ませるようになりました。
- 生活が落ち着くにつれ、もともとあった地域の繋がりを取り戻し、地域の方が定期的に食事を差し入れてくれるようになり、本人の孤立が解消されるとともに、地域の人たちの不安も解消されました。
- 現在では、服薬確認、水分補給、安否確認、食事促しなど短時間サービス(10~15分程度)となりました。

## 事例 2

### がん末期により在宅で 療養するために退院した事例

| 男性 | 89歳 | 要介護 4 | 世帯:同居 | 既往歴:ガン末期 | 認知症自立度:自立 |

#### サービス開始前

- 起き上がることができないため、家族への介護負担が大きかったです。
- 急な体調変化に不安がありました。



#### サービス開始後

- 1日5回の訪問(排泄介助、水分補給、食事配膳、服薬介助、体位交換)で、褥瘡もなく清潔に保てました。
- 短い期間ではありましたが、本人が好きなTVを観たり、好物を食べられたことで、「自分らしく自宅で最後を過ごしたい」という希望に、ささやかながら応えられたように思います。
- 意識レベルが低下した際に、訪問回数を増やしたことで、本人の呼吸が止まってからも、時間を空けずに対応することができました。
- 介護が初めてのご家族も負担なく、自宅での看取りができました。



# Q & A

**Q サービスを利用するとケアマネジャーが変わってしまうのが不安です。**

**A** 小規模多機能居宅介護と異なり、本サービスを利用することによりケアマネジャーが変わることはありません。

**Q 現在、週に2回利用しているデイサービスは、継続できますか？**

**A** 継続できます。それぞれ別報酬になりますが、デイサービス、ショートステイ、訪問入浴、訪問看護ステーション以外の訪問リハビリ、福祉用具は、定期巡回・随時対応型訪問介護看護と併用して利用できます。

※併用するサービスによって、通所減算や日割りがあります。

**Q 1人暮らしの母親が夜中に不安になって頻繁に電話をかけてきます。家族は遠方に住んでいるためすぐに訪問できませんが、どのようなサービスを受けることができますか？**

**A** 利用者宅には通信機器を用意し、24時間オペレーターと話すことができます。1人暮らしの方は不安で過ごしていることも多いですが、オペレーターと話をするだけでも安心し、落ち着いて暮らすことができます。必要に応じてヘルパーが訪問しますのでご家族も安心です。

**Q 1度契約をしたら、ずっと使わないといけませんか？**

**A** 状態が安定して1日複数回の訪問が必要なくなれば、月の途中でも、訪問介護やその他のサービスに切り替えることができます。再度状態が変化した時に、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を再利用する、切り替える等、柔軟にサービス変更できます。

**Q 訪問介護との違いはなんですか？**

**A** 大きな違いは2つあります。1つ目は、安否確認や服薬確認など、短時間の訪問が可能です。訪問介護ではサービスとサービスの間を2時間以上空ける必要がありますが、定期巡回・随時対応型訪問介護看護では、必要な時に必要なサービスを受けることができます。2つ目は、通信機器を用意し、24時間365日対応の連絡体制が設けられます。

**Q 要介護度によって訪問回数は決められているのでしょうか？**

**A** 「要介護度に応じて訪問回数が決めている」ということはありません。利用者の心身の状況に応じて柔軟にサービス提供できるのが本サービスの特長です。

## よこはま地域ネット24とは

よこはま地域ネット24(正式名:横浜市定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者連絡協議会)は、地域で安心した24時間サービスの提供を目指し、重度者を始めとした要介護高齢者の在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が密接に連携しながら、短時間の定期巡回型訪問と随時の対応を行う「定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業」の経営、サービスの質の向上等に関し、研修、情報交換、連絡調整及び調査研究等を行うことにより横浜市訪問介護看護事業の健全な発展を図り、もって市民の地域包括ケアシステムの実現と向上に努めることを目的とする連絡協議会です。

### 横浜市介護事業指導課及びよこはま地域ネット24の情報

● 横浜市健康福祉局 介護事業指導課  
TEL: 045-671-3466 FAX: 045-550-3615  
kf-jigyoshido@city.yokohama.jp

● よこはま地域ネット24事務局  
SOMPO ケア株式会社内  
TEL: 03-6433-9048 FAX: 03-6433-2219  
chiikinet24@sompocare.com